

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2024年4月22日】第205号



## レモン坂

4月15日(月)、サッポロビール株式会社野瀬 裕之代表取締役社長や高野克己東京農業大学顧問が、小学校に来訪されました。小学校が開校する直前の2018年7月に、野瀬様と高野顧問(当時は東京農業大学学長)が、農大稲花小でレモンの植樹をしてくださいました。6年たった今、レモンの成長をご覧いただきました。小さかったレモンの木も、人の背丈を優に超えるくらいの成長を見せ、昨年は、レモンの果実も初めて収穫されました。

レモンの木が植わっている通路は、名付けてレモン坂。レモンの花が咲き始めたこともあり、子どもたちにも見てもらいたいと思っています。

野瀬社長や高野顧問、そしてご同行の皆様には、農大稲花小の給食も召し上がっていただき、本校の教育や食育についてご理解を深めていただきました。

## タブレット贈呈式

4月16日(火)、3年生は保護者にご購入いただいたタブレットを開梱しました。最初に、タブレットのメーカーで、タブレットの設定にご協力いただいた富士通株式会社の担当者から、タブレットの紹介や注意事項について教えていただきました。続けて、3年生の子どもたちは、自分で箱を開け、保証書を確認したあと、指示通りに手順を踏んで、無事に起動させることができました。

農大稲花小では、3年生以上の子どもたちは、自分のタブレットを持ち、日々の学習に活用しています。子どもたちが安心して使えるように完全防水、また、うっかり不適切なアプリを入れたとしても校内に入るとそれがリセットされる「瞬快」や、授業で活用する「知恵たま」、自動採点ソフトなども搭載されている、特別なタブレットです。

子どもたちはデジタル機器の扱いには慣れているようですが、ネットワーク利用における有用性だけでなく、危険性についてもよく理解してほしいと考えています。学習用タブレットには瞬快が搭載されるなど安全の確保がされていますが、子どもたちが触れるデジタル機器は学習用タブレットではありません。ご家庭でも、子どもたちのデジタル機器・ネットワーク利用についてはしっかり目を配り、事故やトラブルがおきないようにご指導をお願いいたします。

## 健康診断・歯科検診

4月17日午前、農大稲花小では学校医をはじめとする専門家にご来校いただいて、健康診断と歯科検診が行われました。新学期が始まりました。男女別、学年別に、子どもたちは整然と、身長・体重の計測、耳鼻科、心電図(1年生のみ)、色覚(1年生と転入生のみ)、歯科、聴力、内科と進みました。全学年そろっての健康診断・歯科検診を短時間に行うため、その準備も念入りに行われました。また、当日は、全教員が協力して管理にあたり、子どもたちもよく指示に従うこと

ができていました。その結果、予定通りに終了することができ、少し遅くなった給食をおいしく味わいました。

尿検査などを含め、保護者の皆様にもたくさんのご協力をいただきました。学校からの連絡を熟読して、必要事項をご理解の上、お子様にもご指導くださったことに感謝しています。

## 保護者会

4月20日(土)、全校の保護者会が行われました。1, 2, 3年生保護者対象の全体会、4, 5, 6年生保護者対象の全体会を行ったほか、各学級でも学級保護者会が行われました。全体会では、校長から学校の近況をお話しした後、子どもたちの心を育てること、正しい行動が自らできる子どもに育てたいことなどについてお話をいたしました。また、教頭からは、本校の10の能力や成績表みのりの評価法などについて説明し、テストの点数だけでない本当の学力について保護者のご理解を深めていただきました。また、教育後援会の会長あるいは副会長から、教育後援会の目的や活動、また役員としてのご協力お願いを、高学年については事務室長から学費納入時期、教育資金(寄付金)へのご協力依頼、教育後援会が主導しプロカメラマン集団アフロに撮影をお願いしている学校行事写真購入へのお願いなどをいたしました。

また、各学級の保護者会では、学年や学級の目標、勉強の仕方などの説明に加え、保護者の自己紹介などで交流が行われました。

当日は、教育後援会による制服などリサイクル事業「ふくのリレー」のために、サイズが小さくなった制服類をお持ちいただきましたが、今までになくたくさんのお品が集まったとのことでした。保護者の皆様のご協力に感謝します。

東京農業大学稲花小学校  
校長 夏秋 啓子